

## 倉敷チボリ公園に関する倉敷市との協議状況等について

### 1 倉敷市議会議員への説明会の概要

9月28日(金)、島津副知事と企画振興部長が倉敷市に出向き、市議会議員有志(42名)に対し、9月5日に知事が倉敷市長に検討を依頼した趣旨や経緯等について説明を行った。

#### (1) 市議会議員からの主な意見等

- ・ 何故、県は協力内容を示さないのか。倉敷市に丸投げして、市が案を出したら必要な協力をするというのはおかしい。
- ・ 倉敷市には迷惑をかけないと県は言ってきた。県には、県事業として継続するのが困難になったことの説明と謝罪の責任がある。
- ・ 市に協力を求める前に、累積赤字や、15億円の出資と85億円の融資を行った市に対し迷惑をかけたことを反省すべきだ。
- ・ チボリ公園はぜひ残してもらいたい。県、市、チボリ・ジャパン社、土地所有者が腹を割って話をし、縮小してでも公園を存続する方向で、真剣に解決策を模索してもらいたい。
- ・ 仮に市民公園とした場合、チボリ・ジャパン社はどうなるのか。

#### (2) 県からの主な説明等

- ・ 倉敷市が、市民の公園としての活用について協議する窓口を開くのであれば、県としても関係者との協議、検討を一緒になって行うとともに、必要な協力について前向きに検討したい。
- ・ 県の必要な協力については、市の検討状況に応じて、今後、協議・検討したい。
- ・ チボリ公園事業を主導してきた県として、これまで精一杯やってきた。開園以来1700万人もの入園者を迎え、また、地域への経済波及効果などの面でも一定の成果はあったと考えている。
- ・ チボリ・ジャパン社については、基本的には、会社が主体的に考えることであるが、県としても、会社と連携し、適切に対応してまいりたい。少なくとも、市にチボリ・ジャパン社の今後について責任を持ってもらうつもりはない。

### 2 倉敷市の意向

10月10日(水)、倉敷市長と市議会の各会派代表との協議が行われた。それを踏まえて、同日、市から「具体的なシミュレーションについて、県やチボリ・ジャパン社、土地所有者と協議したい」との連絡があった。

### 3 今後の対応

倉敷市の意向を確認しながら、早急に市との協議を進める。